



表紙／小学生管楽器クリニック（2月22日 撮影）

令和7年度 当初予算 | 2～4P

行政懇談会を開催しました | 6～7P

自治体DX事業の取り組み | 14P

未来へつなぐ私たちの公共交通 | 15P



広報きそまちを
アプリで読むには
「マチイロ」



木曽町
公式LINEは
こちら

お知らせします

令和7年度当初予算

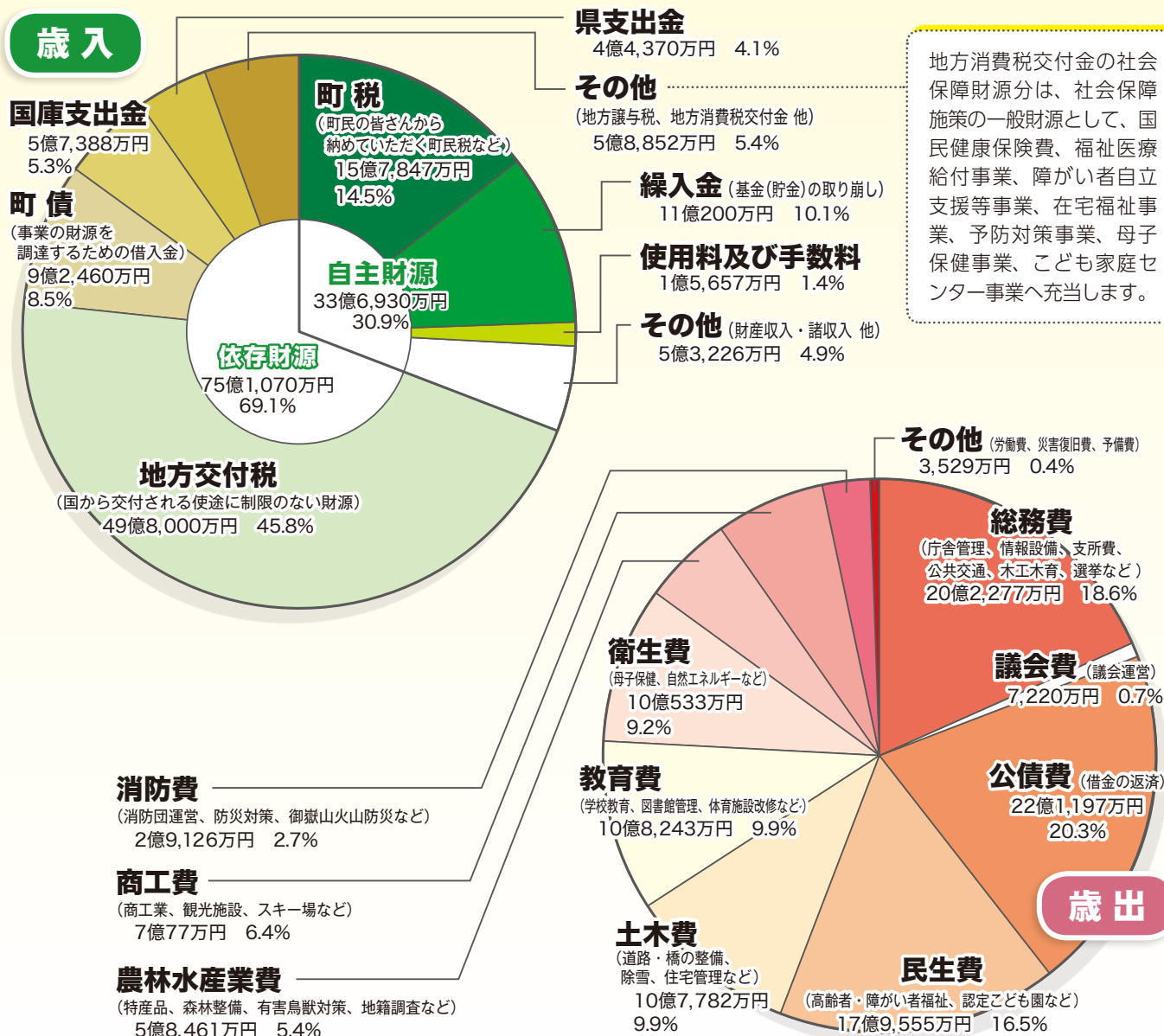
【お問い合わせ先】
企画財政課 ☎22-4287

令和7年度予算は、昨年度に引き続き木曽町総合計画および木曽町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる事業に取り組むとともに「デジタル化(DX)の促進」と「木の産業づくりの強化」を主要施策とする予算となります。

- 一般会計当初予算額 108億8,000万円
(令和6年度当初予算との比較 1億6,600万円 1.5%減)
- 特別会計の予算総額 10億9,707万円(国民健康保険特別会計・後期高齢者医療特別会計)
- 企業会計の予算総額 26億9,307万円(水道事業会計・下水道事業会計・簡易水道事業会計)

一般会計歳入・歳出 108億8,000万円

- ※自主財源…
町税等の町が自ら収入できるお金(町税・使用料・財産収入等)
- ※依存財源…
国・県等から交付されるお金(交付税・交付金・補助金等)



【主要施策①】 デジタル化 (DX) の推進

昨年度の「行革加速化DX・町民サービス向上化DX・産業促進化DX・子育て教育充実化DX」の4つのDX事業に加え、町民視点のデジタル化の推進を図る2事業を追加します。

令和7年度のDX事業 ⇒ ①生涯学習の推進 ②農林業の更なる成長

※DXとは？ …… デジタルトランスフォーメーションの略で、行政もデジタル技術を最大限活用して行政サービスの効率化や町民サービスの向上化を高める取り組み。

事業名1 生涯学習推進DX化事業

【事業費】 162万円 【主管課】 生涯学習課

【概要】 令和6年度に完成した総合トレーニングセンターを拠点に、町のジュニアスポーツカルチャークラブと連携して、デジタル技術を活かし子どもたちやクラブ指導者へのスポーツに対する取り組みを支援します。

- 映像解析ソフトの取得
- 映像解析に必要な機器借上など

事業名2 農林業成長化DX事業

【事業費】 1,055万円 【主管課】 建設農林課

【概要】 有害鳥獣被害の対策として、デジタル技術から得たデータを分析調査して、有害鳥獣の追い払いなどにつなげます。また、ドローンを利用した民有林の森林境界明確化に向けた調査を開始します。

- ICT技術を活用した有害鳥獣対策分析調査
- ドローンを利用した森林現況調査

【主要施策②】 木の産業づくりの強化

木材産業拠点施設整備（新開黒川地区）、旧上田小学校の活用（民間企業との連携）、町有林および民有林の伐採における安定的な木材の確保に向けた整備等を実施します。

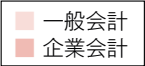
事業名 木の産業づくり事業

【事業費】 2億8,303万円 【主管課】 建設農林課

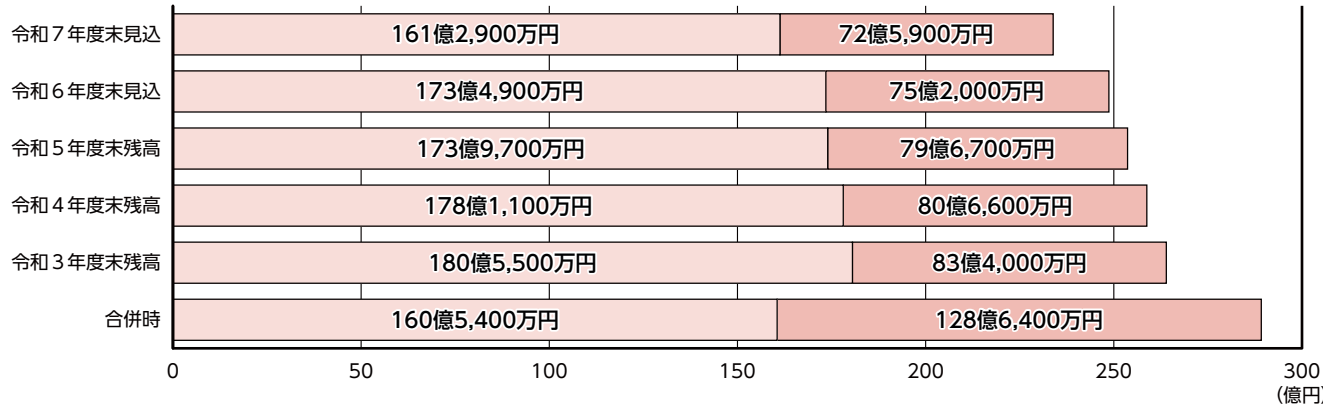
【概要】 ●町有林（明神日影町有林）の整備
●木材拠点施設の整備（木曽町新開黒川地区）
●民間企業が整備する木の産業施設（旧上田小学校）に対する支援



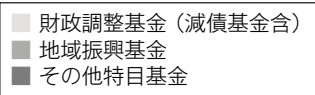
町債（借金）残高見込額



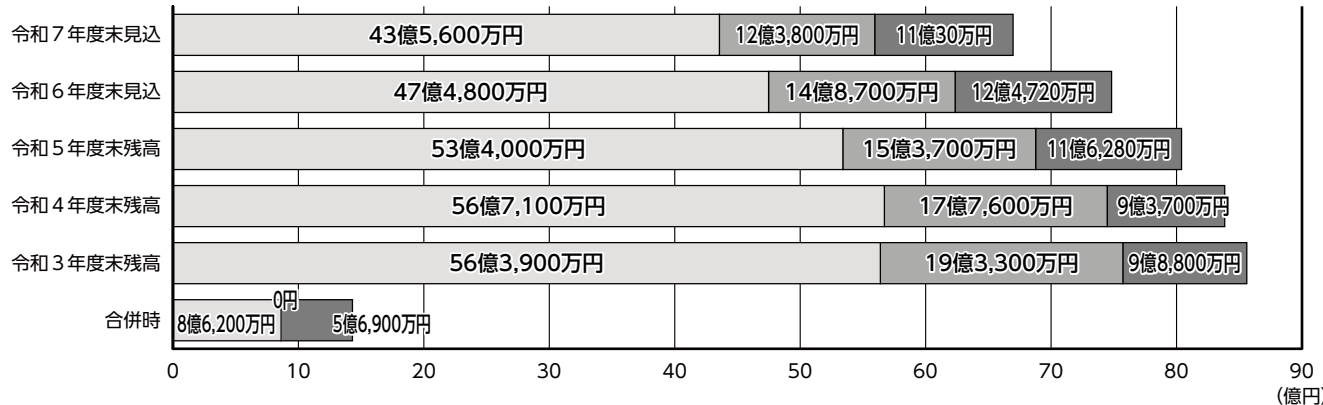
これまでの公共施設整備により町債残高は増加してきていますが、令和7年度から建設事業は、減少傾向となります。



基金（貯金）残高見込額



財政調整基金を財源調整や多様な行政需要に対応するため、毎年度、繰入を行っていますので、基金残高は減少する見込みです。



特別会計・企業会計予算

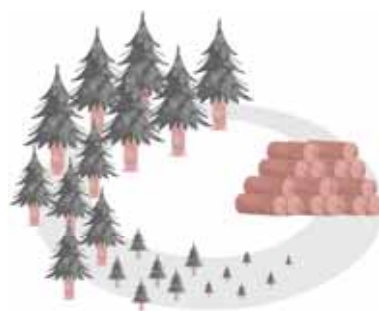
会 計 名		令和7年度予算額	一般会計からの繰入額	概 要
国民健康保険		8億7,045万円	5,483万円	国保税率については、今後県内での統一が目指され、それに先立ち令和9年度には木曽圏域での統一が見込まれることから、被保険者の負担軽減を考慮し段階的に改訂していくこととし、令和7年度国保税率の増額改定を行います。 被保険者は前年同様、後期高齢者医療制度への移行等により減少が見込まれ、療養諸費等は減少傾向にあります。
後期高齢者医療		2億2,662万円	5,508万円	長野県後期高齢者医療保険制度の保険料率は、令和6年度同様で令和7年度所得割額9.45%、均等割額44,365円、賦課限度額80万円になります。 後期高齢者の増加や、医療費の伸び等により保険料の納付金は、増加傾向にあります。
特別会計合計		10億9,707万円	1億991万円	
水道事業	収益	1億7,758万円	1,400万円	○建設改良費の主な事業 幸沢川浄水場浄水棟解体、関山耐震管布設工事
	資本	2億9,006万円	1億円	
下水道事業	収益	7億4,266万円	1億5,842万円	○建設改良費の主な事業 社会資本整備交付金（国庫補助金）を活用した木曽福島浄化センター改築工事等、農村整備事業（国庫補助金）を活用した西野処理場機能強化工事
	資本	7億7,668万円	2億358万円	
簡易水道事業	収益	3億8,946万円	1億3,516万円	○建設改良費の主な事業 宇山・南宇山配水管更新、上村配水管新設、旭ヶ丘配水管布設、屋敷野送配水管更新工事
	資本	3億1,663万円	3,854万円	
企業会計合計		26億9,307万円	6億4,970万円	

※一般会計以外の会計
特別会計 … 事業目的を限定し、特定の歳入を特定の支出に充てて経理する会計
企業会計 … 水道事業や下水道事業のように独立採算による特定の事業を経理する会計

「木の産業づくり推進室」が新設されました

4月1日から、建設農林課に「木の産業づくり推進室」（以下：推進室）が新設され業務がスタートしました。推進室では、令和6年度から進めている、利用時期に到達したカラマツ材を中心に伐採して、付加価値をつけて販売し、主伐後は確実な再生林をしていく「木の産業づくり事業」をより推進します。課題である森林の境界不明確の解消やカラマツ材の価値の再認識などにも力を入れ、カラマツブランドを確立し、木の國木曽として一大林業地を目指して取り組んで参ります。

また、推進室の新設に伴い、「建設農林課 農林係」は、「木の産業づくり推進室」と「農政係」に分かれます。



【仕事内容】▶木の産業づくり推進室 → 林業、鳥獣対策、林道、森林整備計画、治山、木質バイオマス、Jクレジット
▶農政係 → 農業・水産業、土地改良、農道、農業委員会



山河の関跡を未来へ

第1回

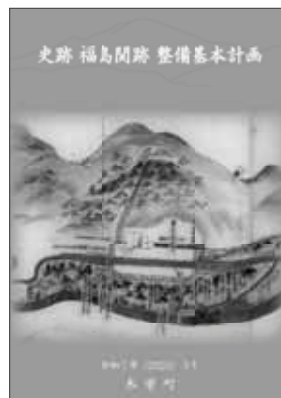
整備基本計画が完成

本年3月、国の史跡に指定されている「^{ふくしまのせきあと}福島関跡」の具体的な整備方針や内容、事業スケジュールなどを定めた『史跡福島関跡整備基本計画』が完成しました。役場本庁や木曽町図書館のほか、木曽町公式ホームページで閲覧することができます。

近年、インバウンドの増加とともに街道歩きを楽しみたいという需要が高まる一方、福島関所資料館や史跡公園では、施設の老朽化や旧式化、保存管理や研究を担う人材の不足など多くの課題を抱えています。

町教育委員会ではこうした現状を踏まえ、わが国の交通史上重要な文化財とされた「福島関跡」を確実に未来へ継承し、地域の発展に寄与できるよう、有識者委員会における審議や文化庁・長野県の指導を受けながら、令和5～6年度の2年をかけて計画づくりに取り組みました。策定にあたっては、第4次となる発掘調査や文献調査なども実施しています。

今回から、そもそも福島関跡とはどんな文化財なのか、いまなぜ史跡の再整備が求められているのかなどについて、連載でお伝えしていきます。



ホームページは
こちら

？ 福島関跡とは？

江戸幕府が中山道（木曽路）防衛の関門として設置した福島関所の跡。木曽代官山村氏による守衛のもと、東海道の箱根関、新居関、中山道の碓氷関とならぶ重要な関所として、厳しい「鉄砲改め」と「女改め」が行われたことで知られる。発掘調査を経て昭和54年に国史跡に指定。

行政懇談会を開催しました

町では、2月21日から3月4日にかけて町内4か所で行政懇談会を開催しました。懇談会は、木曽町まちづくり条例の理念である「開かれた町政」を推進するために開催しています。今回は209名、そして開田会場では初めて開催したオンライン会議にて最大14名の方にご参加いただき、日頃の町政に対するご意見やご要望をいただきました。

町からは、財政シミュレーション、木曽町公共交通システム、木の産業づくりの取り組みについて報告を行いました。町民の皆さまからいただいた主なご意見やご要望と、それに対する町の考えを抜粋してご報告します。



【お問い合わせ先】
総務課 ☎22-4280

要：要望 意：意見 問：質問 答：町からの回答など

町全体に関する内容

木の産業づくりについて

問 親の代が植えた50年物の木があるが、木の価値やどのように利活用したらいいかが分からない。どこに相談すればいいか。

答 個人有林だけだと面積が小さいため難しいが、今持っている山の周辺も含めて伐採して木を出すことができれば、木の産業づくりとして事業を進めることができ、個人での費用負担も生じない。ヒノキもあるが、木曽町内ではカラマツが非常に多いので、カラマツの主伐・再造林を目指していく予定。相談については、建設農林課まで問い合わせてほしい。

木曽病院の分娩の取りやめについて

要 木曽病院で分娩の取り扱いができなくなるということを急な報道で知ってショックを受けた。今までの少子化対策の努力が無駄になってしまうような大きな出来事だと思う。地元の声や意見をしっかり聞いてもらい、町からも県や病院へ伝えてほしい。

答 医師不足により今回の取りやめにつながったが、県福祉事務所や広域連合、各町村で医師の確保について検討中であるものの、今のところ見つかっていない。今後も妊婦さんの安心安全を考え、町としても関係機関に働きかけていきたい。

ふるさと納税について

問 以前ふるさと納税の返礼品に農産物を使用してほしいとお願いしたが、現状を教えてください。

答 ふるさと納税返礼品の木曽牛について、流通量が少なく、常時確保できないためリストから外れている。トウモロコシについても、販売先が固定されており返礼品としては量が確保できない状態である。今年度の返礼品は120品目あり、御嶽山の安全対策として寄附

していただいた約500万円をはじめ、全体で5千万円を超えそうな状況。農産物については今後も検討したい。

小学校の運営について

問 生徒数減少により三岳小学校では複式学級が始まっているが、今後町全体ではどうなっていくか。

答 令和6年度は三岳小学校の1年生と2年生が複式学級。それに加えて、令和7年度は、開田小学校の1年生と2年生、また3年生と4年生で複式学級となる。福島小学校、日義小学校は当面複式学級とならない状況だが、三岳小学校、開田小学校においては複式学級が増えていく状況にある。

中学校統合後の校舎の活用について

問 令和8年の統合以降の校舎の活用方法について、今現在の検討委員会などでの状況をお聞きたい。

答 開田中学校については、開田キャンパスとして利用していきたい。子どもたちの豊かな学習のための学び場や、PTA活動、スポーツ利用、図書館、技術室の利用も考えたい。また、卒業生が立ち寄れる場所にしてほしいとの意見も出ている。令和8年度スタートに向けて、来年度はカリキュラムとも調整するなどの準備を行っていきたい。
日義中学校については、元々小中併設校であることもあり、現在も小中共同で利用している部屋がある。学級数が増えることは無いと思うが、統合後の空き教室は、小学校の特別教室などへの利用を考えていきたい。

経年劣化の調査状況について

問 最近、経年劣化による事故が全国で多発しているが、木曽町の状況はどうだろうか。

答 道路状況について、埋設物は状況を目視で確認することが難しい。平成26年に舗装の点検を行い、一部の道路で劣化があり全面舗装改良を行った。日頃のパトロールや地域住民からの通報により、損傷が軽微な内に修繕できるように取り組みたい。

下水道管路は、今年と来年にかけて長寿命化計画を策定中であり、調査の過程で管の中にカメラを入れてどのような状態か確認している。現時点では、管路は小径が多いこと、比較的新しいこと、コンクリート材質の管が少なく硫化水素の影響も軽微であることなどから、劣化の激しい処理場改修を優先させつつ、順次管路の更新を行っていききたい。

木曽福島地区に関する内容

黒川ダムのガードレールの設置について

意 黒川ダムでの事故を受けてダム側にガードレールを設置されているが、林道側にもガードレールを設置してもらおうと転落する心配が少なくなると思う。

答 林道の入り口にはチェーンがかかっており、一般車両が入れない状態となっている。また、林道の管理を林業大学校が行っていることや、生い茂っている木々は中部電力の管轄になっていることから、再度現場を確認し、地元区長や地権者の方と相談・検討していききたい。

駐車場について

要 木曽福島駅を利用したいが、駐車場の確保が困難となっている。利用できる駐車場は離れており、早朝や夜間ではタクシーも動いていない。町でどうかしてほしい。

答 駅周辺の駐車場については、ニーズがあり問い合わせが増えている状況。今後特急の停車駅を継続していくためにも、駐車場は重要と認識している。駐車場の再整備を検討中なので、しばらくお待ちいただきたい。

日義地区に関する内容

七笑橋について

問 仮橋が残っているが、町として負担金があったということか。あったとすれば、どの部分に負担金をかけたか、また栗本線の改修にあたり、七笑橋を利用した今後のシミュレーションをお聞きしたい。

答 相撲場を過ぎて日義地区にわたるあの橋は、「永久橋」ということで町が負担金を支払い、町道認定した。現在は通れない状況となっているが、あのままではいけないので予

備設計をしており、栗本地区から来る道路から信号を出ずに日義地区に来られるように動線確保することと、何年後かには相撲大会や国体もあり地域住民の方の移動を検討しなければならないことから、現在、国・県・公安委員会を含めて協議をしている段階。具体的なことが分かり次第、皆様に説明会などで説明をしたい。

開田地区に関する内容

公共施設について

問 旧開田中学校のグラウンドを現在使用しなくなり、地域で3年間補助をいただいて整備したが補助期間も終わり、現在はイノシシなどの巣になっている。照明の電柱もあり、危険ではないかと心配している。広く平らな場所ではあるので、うまく活用できないか。

答 地域全体の課題として受け止め、今後再利用や活用について検討していききたい。電柱の撤去移転については今のところ危険の報告は受けていないが、活用する上で撤去も検討していききたい。

問 開田社会体育館を利用したが、倉庫も汚いし鳥のふんが体育館内に散らばったりしている。屋根も雨漏りしているような状態。今後どのように管理していくのか。

答 管理が行き届いておらず申し訳ない。社会体育施設は各地区にあるが、人口の減少に伴い利用度が下がっている。町全体で公共施設の管理を見直す時期に来ており、開田の体育館も、利用者の減少により令和7年度は運用停止を予定している。運営事業費もかかる中、体育施設の見直しが必要だと思う。管理方法や活用方法があればお寄せいただきたい。

三岳地区に関する内容

道路の改良について

要 小島トンネルの改良が始まるが、トンネル前のS字状のカーブの改良も県に要望してほしい。

答 県道の改良について、小島トンネル手前のカーブは県でも危険箇所として承知している。町でも要望するが、三岳地域でも県道の期成同盟会を組織しているので、一緒に要望したい。

問 黒田地区内の道路が民家前でクランク状になっている。道路改良の要望を過去にしているが、どうなっているか。

答 道路の改良は各地域、各地区から多くの要望をいただいている。緊急性、優先性を考慮し順位付けをして対応しているので、もうしばらくお待ちいただきたい。

まちの話題

健康増進に関わる包括連携協定を結びました

2月19日、木曽町は株式会社富士薬品と健康増進に関わる包括連携協定を締結しました。

今回の協定は、①セルフメディケーション*の強化、②健康情報の発信、③高齢者の方などの見守りサービス、④防災・災害対策の主に4つを目指して締結されました。①②では日義地区にあるアメリカンドラッグを通じた支援、③は登録販売の方がお宅を訪問する際に見守りも兼ねる支援、④では配置薬の支援など、富士薬品の強みを活かした支援となっています。

富士薬品では「誰もが豊かな人生を送れる社会の実現」を目指し、全国の自治体との連携協定締結を行っていく予定とのことです。

※セルフメディケーション…自分自身の健康に責任を持ち、軽度の身体の不調は自分で手当てすること（WHOの定義による）



(左から) 原町長、伊庭圭之助 配置事業本部 配置営業統括部 営業部長

まちの話題

孫育て講座を開催しました

2月20日、日義公民館において、「孫育て講座」を開催しました。この講座は、お孫さんと一緒に過ごすときの関わり方や、昔と今で違う子育ての方法に戸惑っている方向けに企画したものです。当日は現在お孫さんがいる方やこれから子育て・孫育てを始める方など、総勢15名が参加をしました。

講師に、「助産院マザー＆チャイルドサポートぱぴい」の院長である朝倉真理子助産師をお迎えし、近年の妊婦さん事情や赤ちゃんが泣く理由、子育てをする際の祖父母のサポートの重要性などについて教えていただきました。参加した方からは「しつけや勉強よりも大切なことは自己肯定感で、愛情と安心を惜しみなく与えることが必要との言葉にハッとさせられ、大切にしたいと感じました。」などの声が聞かれました。



まちの話題

「PPバンドのかご作り」ワークショップを開催しました

3月6日、木曽町図書館の“わくわく新趣味をはじめよう！”企画にて「PPバンドのかご作り」ワークショップを開催しました。PPバンドとは基本的には梱包に使うプラスチック製のひものことで、それを交互に重ねて編んでいくことでかごを作っていきます。当日は、実際にかごを手作業で作って販売されている「指定障害福祉サービス事業所 みやまの家」から講師を2人お招きし、教えていただきました。参加者の方々は、時間を忘れて作業に取り組んでいました。また、図書館にある「かご作り」などの趣味の本がこの企画にあわせ展示されました。





\\ おじゃまします町長室 //

町長コラム | 待ちわびた春ですね

行政は4月がスタートです。3月は別れの季節で4月は出会いの季節とも言われますが、役場においても新しい仲間を迎えて新年度が始まりました。自分自身が新入職員になったときのことはかなり昔になってしまったのでよく覚えていませんが、緊張して周りのことを気にしながらの職場であったのではと思います。新社会人となった職員の皆さんは、特に町民の皆様からの温かいご指導をいただきながら町を背負ってたっていただく人材に育っていただけるものと信じています。

さて、今年の町の重点施策は、昨年度と同様、「デジタル(DX)化」による住民の皆さんの利便性の向上と、情報発信のスピードアップを図れればと思っています。回覧板もケーブルテレビで見られるようになりましたし、小学生の子どもたちも1人1台のタブレットを持って授業をする時代になりました。

もう1つは「木の産業づくり」です。50年ほど前には町内にいくつかの木材業者と呼ばれる皆さんがいて、この山をいくらで売ってくれなどという形で木材が取引されていましたし、製材工場もいくつかあって住宅用の柱など供給していただいていた。その後、外国の木材が安く手に入るようになり、木材業者と言われている皆さんも

いなくなり、製材工場も“プレカット”という住宅の部材を工場で製品化されることが増え姿を消してしまいました。

昔、先人が家畜用の採草地であったところにみんなでカラマツを植えました。それが今、60年を超える木に育ってきています。この木を有効に循環させ、しかも無計画ではなく、また町外の木材業者の皆さんに買い占められることなく、確実に産業として起こしていければというのが大きなテーマです。

今年は昭和100年、戦後80年という年になります。そして我が木曽町が誕生して20年を迎えます。人口が減り、お年寄りが多いと嘆いてばかりはおられません。みんなで知恵を出し合い、住み続けられる、また若い皆さんが住み続けようと思っただけの町づくりを、今年も頑張っ取り組んで参ります。どうぞよろしくお願いします。

おじゃまします町長室のご案内

こども園や小中学校のクラス懇談会、サークル活動、地域の会合などへおじゃまし、世間話をしながらご意見をお伺いします。

(公務日程等により希望に添えない場合もありますのでご承知願います。)

【お申し込み先】

総務課 ☎ 22-4280 または各支所

まちの話題

木曽学講座「藁草履・布草履づくり」を開催しました

3月13日、木曽町文化交流センターにおいて、木曽学講座「藁草履・布草履づくり」を開催しました。「昔の人の知恵を伝えたい」という願いから生まれた講座に13名が参加し、4人の講師の先生に教えていただきながら草履を作りました。1本の藁や布を編み込んで作っていく過程は、単純ではありながら力の入れ方や成形など難しい部分も多く、近くの方や講師の先生とたくさん会話をしながら進めていました。時には談笑に花も咲かせながら制作を進めていくと、最後には、形も色もそれぞれのオリジナリティのあふれた草履が完成しました。



5月

- M A Y -

5月は固定資産税1期、軽自動車税の納付月です。

忘れずお早めに納付ください。

緊急当番医連絡先

3日(土) 大脇医院 (上松町)

☎52-2023

4日(日) 大脇医院 (上松町)

☎52-2023

5日(月) 王滝村診療所 (王滝村)

☎48-2731

6日(火) 原内科医院 (福島)

☎22-2678

11日(日) 芦沢医院 (上松町)

☎52-2018

18日(日) 古根医院 (大桑村)

☎55-1188

25日(日) 田澤医院 (開田高原)

☎44-2008

緊急当番歯科医連絡先

4月

13日(日) スマイル歯科クリニック (福島)

☎24-3108

27日(日) 開田高原歯科診療所 (開田高原)

☎42-3200

5月

3日(土) 開田高原歯科診療所 (開田高原)

☎42-3200

5日(月) あすなろ歯科医院 (福島)

☎22-2221

11日(日) ゆうあい歯科医院 (日義)

☎26-2442

25日(日) 古谷歯科医院 (大桑村)

☎55-2760

主なイベント

☎：参加費用が必要です

日付	時 間	内 容	場 所
17日(土)	13:30～ 15:00	木曽学講座 「木曽の鉄道を語りましょう」	文化交流 センター
27日(火)	未 定	生涯学習講座 「スマートフォン講座」	文化交流 センター
31日(土)	10:30～	木曽町制施行20周年記念式典	文化交流 センター

相談はこちらへ

各種相談 ※法律相談には予約が必要です。

- 期 日：5月21日(水)
- 時 間：13:00～16:00
- 会 場：三岳交流促進センター
- 相談内容：・法律相談 ・心配ごと相談
・行政相談 ・人権相談

【予約・お問い合わせ先】

木曽町社会福祉協議会 ☎26-1116

年金相談 ※相談には予約が必要です。

- 期 日：5月8日(木)
- 時 間：10:00～12:00 13:00～15:00
- 会 場：木曽町役場 会議棟 第2会議室

※今年度から会場が変更になりましたのでご注意ください。

【お問い合わせ先】

松本年金事務所 お客様相談室 ☎0263-25-8100

自動音声案内「1」の次に「2」を選択してください。

※掲載している日時や会場などの情報は変更、中止になる可能性があります。急な変更、中止の際は定時放送やホームページでお知らせします。

保健の掲示板 5月



※急な変更、中止の際は定時放送や母子手帳アプリ「母子モ」でお知らせします。

各種検診・健診スケジュール

検診名		対象者	福島	日義	開田	三岳
健康診断	特定健診	40～74歳の町国民健康保険加入者		15日(木) 16日(金)	13日(火)	14日(水)
	節目検診	令和7年度末で満40歳・50歳の方				
	さわやか健診	20～39歳の方				
	健康長寿健診	75歳以上の方				
	前立腺がん検診	50歳以上の男性				
	肝炎ウイルス検査	40歳以上でこの検査の未受検者				
	骨密度検診	20～74歳の方				
断乳が診	大腸がん検診	35歳以上の方	2日(金) 7日(水) 8日(木)	1日(木) (午前)	1日(木) (午後)	
	超音波検診	30～39歳の女性、 41～69歳の奇数年齢の女性、 71～79歳の女性				
検子宮頸がん診	細胞診	20～79歳の女性	20日(火)	28日(水)		
	HPV検査	30、35、40、45、50歳の 細胞診検診当日に希望した女性				

子育て支援センターの広場

※広場は午前10時から11時までの予定です。

広場(対象)	期 日	内 容
ベビーの広場 (3ヶ月～1歳)	13日(火)	ふれあい遊び・子育て談話
てのひらぱーく (1歳になったお子さん～ R5.4.1生まれのお子さん) ※各回の対象者は内容によって変わります。	16日(金)	おでかけさんぽ ※2歳になったお子さん～ R5.4.1生まれのお子さん対象
	21日(水)	ふれあい遊び
子育て講座 ※各回対象が変わります。	29日(木)	ラボの運動遊び 『ラボの森で遊ぼう』 ※2歳になったお子さん～ R5.4.1生まれのお子さん対象
中学生ふれあい体験 (3ヶ月～R5.4.1生まれの) お子さん	9日(金)	日義中学校2年生との ふれあい体験

【お問い合わせ先】

子育て支援センターてのひら (木曽こども園併設)
☎22-3301

開放日 (入学前のお子さんを連れて自由に遊ばせることができます)

施設名	場 所	時間等	連絡先
あそびのひろば	木曽福島保健センター1階	毎週月～金曜日 (祝日除く) 9:00～12:00/ 13:00～16:00	☎22-2232

※詳細は母子モでご確認ください。

介護保険制度、認知症、介護予防、成年後見制度など高齢者に関するご相談は、下記までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

地域包括支援センター (保健福祉課内)
受付時間 平日8:30～17:15 ☎22-4038

乳幼児健診

健 診	期 日	会 場
1歳6ヶ月児健診	12日(月)	木曽福島保健センター
3歳児健診		
4ヶ月児健診	14日(水)	本庁はぐくみひろば
離乳食教室		
3ヶ月児教室	15日(木)	本庁はぐくみひろば
歯なまる教室	19日(月)	木曽福島保健センター
7・10ヶ月児健診	21日(水)	木曽福島保健センター
1歳児健診		
【お問い合わせ先】 保健福祉課 ☎22-4035		

※会場が変更になる場合があります。
詳細は、個別通知をご覧ください。

いきいき運動教室

65歳以上の方を対象に、筋力アップ、ストレッチ体操等を行います。人生100年時代を生き抜くには、健康な身体づくりが大切です。ご近所お誘い合わせてご参加ください。

【参加費】 200円
300円 (通うのに支援が必要な方)

【持ち物】 タオル・飲み物
上履き
(開田高原末川研修センター・総合トレーニングセンター)

【お問い合わせ先】

地域包括支援センター ☎22-4038

期 日	会 場	時 間
1日(木)	木曽町文化交流センター	13:30 から 約1時間
7日(水)	開田高原末川研修センター	
12日(月)	総合トレーニングセンター	
15日(木)	三岳交流促進センター	



＼健康寿命を延ばそう！／

令和6年度 保健補導員会活動報告

● 保健補導員とは

毎年各地区から105名の保健補導員が選出されています。様々な研修会で学習・体験したことを、まずは自らの健康につなげ、そして家族・地域の健康づくりに役立てていくことを目的に活動しています。



● 昨年の活動について

★木曽支部研修会

木曽支部研修では、薬剤師 兼 健康運動指導士である長島^{ひさえ}寿恵さんに「日常生活が大事！からだの調子がどんどん良くなる生活習慣」と題してご講演いただきました。参加した方からは「外に出るだけが運動ではなく、家の中で過ごす時間の工夫や食事の姿勢を正すことだけでも効果があることが分かった」など、生活の意識を変えていきたいという感想が多く聞かれました。

★木曽町総合トレーニングセンター見学、運動講座

新設されたトレーニングセンターの見学とともに、おんたけウェルネスラボの梅戸先生から、腰痛予防のストレッチや日常生活でも実践できる運動について教えていただきました。テニスボールなど、身近なものを使用したストレッチは腰痛を抱えている参加者も実践でき、日頃の運動継続の大切さを学びました。

★つながりワーカー養成研修

つながりワーカーとは「地域で孤立してる人、孤独な人に気づき、つながり、つなげ、見守る人材」のことで、演習を交えながら研修を受講しました。活発な意見交換が行われ、気になる人への声のかけ方や、専門職へのつなげ方などを学びました。

★特殊詐欺防止講座

木曽警察署生活安全課の方を講師に、現代における特殊詐欺の現状と対策について学びました。特殊詐欺の実例をもとに、年代は関係なく詐欺に合うことや、その危険性を学びました。特殊詐欺の手口や情報を共有することで被害を減らすことができることを知り、地域の中で保健補導員を中心に特殊詐欺防止の意識を強めていけたらと感じました。

● 地域での活動

住んでいる地区の保健補導員が中心となり、地区の希望に応じて健康教室を行い、フレイル予防講座や栄養講座、講師を招いた運動教室など、健康について学びました。今年度は16カ所の地区で開催され、地域の活性化にも貢献していただいています。またサロンと一緒に活動することも多く、高齢者の健康増進や居場所づくりのきっかけとしても活動しています。

地区のニーズや開催時期に合わせた内容でできますので、健康教室の開催等の希望があれば、ぜひ地区の保健補導員の方へご相談ください。

きそまち 図書館 だより

新しい出発の
季節です



図書館へのお問い合わせ

木曽町図書館
〒397-0001
木曽町福島5129
(文化交流センター内)
TEL 23-2030
FAX 24-0082

今月は、絵本専門士によるおはなし会です！

日 時 4月19日(土) 11:00~11:20

「はらぺこあおむし」などの春をテーマにした絵本の読み聞かせを行います。また、手ぶくろシアターやわらべうたもあります。みんなで春の訪れを楽しみましょう！

としょカフェコンサートのお知らせ

まちとしよで聴こう。木曽福島公民館サークルのcolors 〜カラーズ〜さんによるコンサートを開催します。クラリネット、キーボード、木琴、鉄琴などの演奏です。図書館スタッフによる絵本の読み聞かせも行います。みなさんぜひ聴きにきてください。



昨年の様子

日 時 5月3日(土・祝) ①13:30~ ②14:30~

場 所 木曽町図書館 としょカフェ

演奏曲目 「虹のかなたに」、「明日があるさ」、「天国と地獄」など

開田分館が新しくなります！

開田支所新築に伴い、5月7日(水)に開田分館がリニューアルオープンします。以前より本の冊数が増え、より充実した本棚になります。また、雑誌の貸し出しも行います。今まで以上に利用しやすい新しい開田分館へ、ぜひ足をお運びください。

※4月30日(水)、5月1日(木)、2日(金)は、本の移動のため開田分館は臨時休館となります。

4月・5月のおはなし会

日 ち	時 間	内 容
4月19日(土)	11:00~11:20	絵本専門士によるおはなし会 テーマ「春がくると…」
5月3日(土・祝)	11:00~11:15	ボランティア「めっきらもっきら」さん によるおはなし会を行います。

▶開館時間

平日 10:00~18:00
土日・祝日 10:00~17:00

▶休 館 日

- ・毎週火曜日(祝日の場合は開館)
- ・祝日の翌日(平日)
- ・毎月最終木曜日

- ・4月29日(火)、5月3日(土)~5月6日(火)は、祝日開館します。
- ・4月30日(水)、5月7日(水)は振替休館となります。

4月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

※色の濃い日がお休みです。

calendar

自治体DX事業の取り組み

Vol.2



近年のデジタル化の進展や社会情勢、住民ニーズ等環境変化を踏まえ、新たな視点のもと令和5年度から令和9年度までの5年間を計画とする「木曽広域連合 自治体DX・ICT利活用計画」が進められています。今月号では観光商工課で行っている「産業促進化DX事業」の取り組みについてお知らせします。

タクシー運賃のキャッシュレス決済を開始

町民や観光客、特にインバウンドからのニーズに応えるため、町内タクシー事業者へのキャッシュレス機能導入を進めています。これにより利用者の利便性向上、インバウンドのタクシー利用の増加が期待されるとともに、タクシー事業者や乗務員の負担軽減にも効果が期待できそうです。



観光アプリの作成 ※高付加価値化DX事業（おんたけ観光局）



おんたけ観光アプリ

観光情報や防災情報を発信しています。
旅マエ、旅ナカに必要な情報を収集できる便利なツールです。

「おんたけ観光アプリ」でできること

- 周辺の観光スポットの検索
- おすすめのモデルコースの確認
- 登山情報の確認
- 御嶽山のライブカメラ映像の閲覧 など

「おんたけ観光局」のホームページから
アプリのインストールができます



電子マネーの推進

町内の商工事業者が加盟店となり展開している、ギフトきそふくしま協同組合の「ハッピーカード」。幅広い世代に利用されている特徴を活かす、また地域通貨としても地域経済に貢献できるよう電子マネー化を進めています。

現在の加盟店舗は60店舗ですが、今後さらに拡大していく予定です。行政ポイントや図書カードポイントも、ハッピーカード事業の一環です。

ハッピーカードは、加盟店全店と、役場本庁 観光商工課でも作成できます。

スマートフォンアプリも ご利用ください

お持ちのカードと連動
して、さまざまな機能
をご利用いただけます。



「ハッピーカードアプリ」でできること

- 加盟店舗情報の確認
- スキャンによるお支払い
- ポイントや残高の確認
- 所持しているクーポンの確認 など



詳しくは「ギフトきそふくしま」の
ホームページをご確認ください



【お問い合わせ先】観光商工課 ☎ 22-4285

木曽町では、木曽町に住所をお持ちの70歳以上の方や障がいがある方※などを対象に、予約制の福祉タクシー、通称『ななまるタクシー』を運行しています。従来の生活交通システムを補完することを目的に始まったサービスで、年齢や体の不調をきっかけに免許を返納された方など、開始以降多くの方にご利用いただいています。公共交通再編後も大きな役割を持つ交通手段の1つですので、改めてななまるタクシーの制度についてご説明させていただきます。

※▶身体障がい者手帳 1級・2級 ▶療育手帳 A1・A2・B1 ▶精神保健福祉手帳 1級・2級

ご利用になる前に

●事前登録が必要です

ななまるタクシーの利用には**事前の登録が必要**になります。登録用紙は役場本庁と支所に用意があるほか、町ホームページからダウンロードしてご利用いただけます。申請を受け付けた後、ななまるタクシーの登録証を交付します。

*お1人での利用に支障がある方は、付き添いの方1人に限り登録がなくても同乗することができます。その場合、2人での乗り合いになるので1人600円の合計1,200円をお支払いください。



町ホームページは
こちら

●予約による運行です

ななまるタクシーは**予約制**で運行しています。予約は2週間前から受け付けていますので、**タクシー会社へ予約の電話**を入れてください。車両の**運行時間は毎日13時から18時まで**です。運行状況によっては予約が受けられない場合がありますのでご了承ください。

ななまるタクシーのメリット

●一律料金700円で木曽町内どこへでも

運行時間中、木曽町内どこへでも**1人一律700円**で乗車できます。乗り合いで利用した場合、2人なら1人600円、3人以上は1人500円と、**乗り合いの人数が増えると料金がお得**になります。また、木曽町生活交通システムの回数券がご利用いただけます。木曽町では免許を返納された方に10,000円相当の回数券を交付していますので、ななまるタクシーに乗る際はぜひご利用ください。

●ご自宅から目的地まで送迎

ご自宅までタクシーがお迎えに行きますので、タクシーが来たことがわかるようにしてお待ちください。タクシーに乗ったら、ななまるタクシーの登録証を運転手にご提示ください。木曽町内の目的地の場所までお送りします。

ご自宅の場所によっては安全の観点から正面まで車が着けられないことがあります。その場合は所定の場所まで来ていただくことがありますのでご了承ください。

タクシー会社への予約方法イメージ



【お問い合わせ先】

▶事業の仕組みに関すること: 環境水道課 生活環境係
▶予約・送迎などの運行に関すること: おんたけタクシー(株)
木曽交通(株)

☎22-3320
☎22-2525
☎22-3666

photo report

音楽を身近に

 2月22日
小学生管楽器クリニック

「ホルンアンサンブルアルペン」の皆さんと木曽町中学校吹奏楽部の皆さんにも教えていただきながら、小学生と保護者の方も一緒に、様々な吹奏楽器の体験などを行いました。



2月23日 木曽ホルン音楽会

「ホルンアンサンブルアルペン」の演奏に、100名を超える来場者が耳を傾けました。

演奏してくださった皆さんは、木曽音楽祭にも出演され、長年木曽地域の振興に大きく関わってくださった山本眞先生のお弟子さんです。山本先生は昨年12月に亡くなられましたが、演奏の幕間では、山本先生のエピソードトークや、山本先生が使われていたホルンとレコーディングで被っていた帽子などの思い出の品も披露され、山本先生をそばで感じることができるような温かい音楽会になりました。



「ホルンアンサンブルアルペン」の皆さん

photo report

 木曽学講座
おやき作り

 3月2日
すんきを使った
おやき作り講座

あひるの会の皆さんに教えていただきながら、合計189個のおやきを全員で作りました。

木曽町の総人口 9,768人（3月1日現在）世帯数 4,722世帯 男性 4,735人 女性 5,033人

木曽町インフォメーション 木曽町役場 本庁 22-3000 日義支所 26-2301 開田支所 42-3331 三岳支所 46-2001